

事務事業名		田茂山明神前線(赤沢工区)道路新設事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備					01	08	02	03	01
根拠法令											
所 属	部課名	都市整備部建設課			☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成15 年度～平成30 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111							
			内線	316							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
本路線は、国道45号と救命救急センター機能を有する県立大船渡病院を結ぶ幹線市道であり、病院の開業に合わせて平成6年度に県立病院の入口部まで供用開始している。県立病院への進入路は、北側からの本路線が主要ルートとなっており、約8,320台/日と非常に交通量が多い。このため、本路線を延長し大船渡町赤沢地区と接続することにより、市南部地域から県立病院への進入ルートを整備し、地震・津波等の災害時における被災者搬送時間の短縮及び県立病院利用者の利便性の向上を図るものである。 新設整備は、延長865m・幅員9.5m(片側歩道)とし、平成16年度までに測量設計業務、用地買収(283㎡)、平成17年度に用地買収(3,822㎡)、補償業務(建物3棟、立木等)、一部繰越で工事施工(改良103m)、平成18年度に用地買収(6,462㎡)、補償業務(立木等)、工事施工(舗装103m)、平成19年度に用地買収(1,400㎡)、補償業務(電柱等)、測量調査設計業務(国道45号までの区間)、工事施工(改良370m、舗装330m)を実施。平成20年度は用地買収予定箇所の地権者との交渉に時間を要したため、事業を休止した。平成21年度に用地買収(1,510㎡)、補償業務(建物、立木等)、工事施工(改良80m、舗装120m)を実施し、同年10月に新設区間(県立大船渡病院合同公舎前付近～民宿といり荘付近)を供用開始した。平成22年度は残区間(といり荘前付近から国道45号まで)の部分改良(42m)を行った。残区間については、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興事業を最優先と考え、事業を一時休止する。 本業務の完了は、平成30年度の予定である。 事業費は、委託料、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。							総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金	444,460	
									都道府県支出金		
									地方債	379,900	
									その他		
									一般財源	20,938	
							事業費計(A)		845,298		
							人件費	正規職員従事人数	2		
								延べ業務時間	5,136		
								人件費計(B)	20,544		
								トータルコスト(A)+(B)	865,842		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 測量業務(用地測量)、用地買収(50㎡)、工事施工(改良42m) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 一時休止のため無し		名称	単位
		ア 用地買収面積	㎡
		イ 施工延長	m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市道田茂山明神前線(山馬越～赤沢間) 市道利用者		ウ 整備率(計画区間改良済延長/計画総延長)	%
		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (市道が) 新設され、市南部地域から県立病院への進入ルートが確保される (市道利用者の) 県立病院までの移動時間が短縮される		カ 計画総延長	m
		キ 主たる利用者数(県立病院利用者)	人/日
		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全で快適に移動できる		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 短縮時間(末崎地区方面～県立病院間)	秒
		シ 十分な幅員で舗装された供用開始延長	m
		ス	

			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円	73,414	78,925	74,250		23,970	3,646
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円	93,800	61,300	57,700		15,100	2,300	
		その他	千 円							
		一般財源	千 円	5,545	3,282	3,055		2,721	131	
		事業費計 (A)	千 円	172,759	143,507	135,005	0	41,791	6,077	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	3	
		延べ業務時間	時 間	596	596	908	120	908	512	
		人件費計 (B)	千 円	2,384	2,384	3,632	480	3,632	2,048	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	175,143	145,891	138,637	480	45,423	8,125	
⑤活動指標	ア	㎡	3,822	6,462	1400		1510	50		
	イ	m	0	103	330		120	42		
	ウ	%	0	11.9	50.1	50.1	63.9	68.7		
⑥対象指標	カ	m	865	865	865	865	865	865		
	キ	人/日	1,114	979	804	799	1,000	1,000		
	ク									
⑦成果指標	サ	秒	0	0	0	0	66	66		
	シ	m	0	103	203	203	566	566		
	ス									

事務事業ID	0665	事務事業名	田茂山明神前線(赤沢工区)道路新設事業
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

県立病院へのアクセス道路が市道田茂山明神前線北側のルートしかないため、市南部地域の市民から南側のルートの確保を要望されたことにより、平成15年度から事業を開始している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

地域の理解が進み、協力的になってきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

多くの市民から早期完成を強く要望されているが、一部の市民からは、既存の道路がある区間(国道45号までの区間)は改良の必要がないのではないかと意見も出ている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 交通の利便性がよくなり、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 県立病院へのアクセス道路の整備であり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ この事業により、市南部地域から県立病院までの時間短縮及び十分な幅員で舗装された道路を確保するため、これ以上の成果向上余地が認められない(年度ごとの実績はあるが、全区間の整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない)。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ とりい荘前付近から国道45号までの区間の拡幅改良整備ができず、利用者は安全に利用できない状況が続く。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒ [理由]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	0665	事務事業名	田茂山明神前線(赤沢工区)道路新設事業
--------	------	-------	---------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																															
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	良好に事業実施がなされた。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																															
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☒ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興事業を最優先と考え、平成24年度は休止する。	☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																												
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持			×																												
	低下		×	×																												
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																																
多くの市民から早期完成を強く要望されているが、一部の市民からは、既存の道路がある区間(国道45号までの区間)は改良の必要がないのではないかの意見も出ている。このため、利用者は安全に利用できない状況が続くことから、今後も事業の必要性を説明していく必要がある。																																

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

建設課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- | | | |
|---------|--|----------------------------------|
| ① 目的妥当性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ② 有効性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |

(3) 評価結果の根拠と理由

良好に事業実施がなされた。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- | | | | | |
|---|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--|
| ☐ 廃止 | ☐ 休止 | ☐ 目的再設定 | ☐ 事業統合・連携 | ☒ 現状維持 |
| 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) | | | | |

(上記方向性に対する具体的な内容)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興事業を最優先と考え、平成24年度は休止する。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項